

あらすじ

海面が上昇し、人々は生き延びるために高台を探し求めている。

ある日、家族とはぐれた少女が、人々が去って廃墟となった都市へ流れついた。そこにはさまざまな動物が集まり、不穏な同盟を結びながら、かつての図書館、スーパー、政府施設、教会をそれぞれの縄張りにして、街はさながらジャングルと化していた。



少女は、ラクシャとラマが率いるオオカミの群れに発見され、動物の評議会へかけられることになる。評議会は犬のアキーラが主導し、空からはトンビのチルが目を光らせている。議論の末、少女は受け入れられ、「モーグリ」と名付けられる。早速、食糧を探してくるよう命じられるモーグリ。同行するのは、人間に捕えられ宮殿で育った黒ヒョウのバギーラと、かつては見世物小屋でダンスを踊っていた熊のバルー。その道中、モーグリはバンダー・ログに連れ去られてしまう。



バンダー・ログは、あらゆる動物実験を受けてきた猿の集団。人間のことをよく知り、人間を模倣し、今では人間になりたいと願っている。狡猾な彼らからモーグリを救い出すため、バギーラとバルーは、動物園から脱出した不思議な力を持つニシキヘビのカーの助けを借りに行く。一方、バンダー・ログの巣窟で、モーグリは、人間が生み出した最強の力を教えるよう迫られていたが…。



母親の言葉を思い出しながら、モーグリは新たな友人たちを守るために立ち上がる。

アクラム・カーン『ジャングル・ブック』

こどものためのあらすじ



あたり一面が海の水におおわれ、人々は生きのびるために、高台をさがしています。ある日、ひとりの少女が家族とはぐれてしまいました。たどり着いたのは、人が住まなくなった都市。そこでは動物たちが、かつて図書館、スーパー、政府の建物、教会だった場所を縄張りにしていました。

少女を発見したのは、ラクシャとラマが率いるオオカミたち。空からはトンビのチルが目を光らせています。犬のアキーラたち動物は話し合い、少女を受け入れることにしました。少女は「モーグリ」と名づけられました。食料をさがす仕事を命じられたモーグリ。一緒に出かけたのは、ヒョウのバギーラと熊のバルーです。しかしモーグリは、サルの集団バンダー・ログにさらわれてしまいます。バンダー・ログは、動物実験に使われていたサルたちです。ずるがしこい彼らからモーグリを救うため、バギーラとバルーは、ニシキヘビのカーに助けをもとめます。そのころバンダー・ログの住みかで、モーグリは、人間が生み出した最強の力を教えろとせま迫られ…。

母の言葉を思い出しながら、モーグリは新しい仲間たちのために立ち上がります。

愛知県芸術劇場

2025.6.28 | 土 | 16:00

